

# Stericycle 利益相反ポリシー

## 1.0 目的

Stericycle, Inc.は、ビジネス慣行および業務倫理規範に定められている通り、業務において最高水準の誠実性を維持し、世界中の事業運営の法律を遵守することに全力を傾けています。この経営倫理ポリシーは、Stericycle, Inc.の全チームメンバーの実際の、潜在的な、もしくは明確な利益相反を特定、開示、解決するためのガイドラインを確立することを目的としています

## 2.0 範囲

本ポリシーは Stericycle, Inc.、被支配事業体、子会社、支部（総称して「Stericycle」）の全チームメンバーおよび委員、そして当てはまる場合は Stericycle ビジネスパートナーに適用されます。Stericycle の支配下でない団体に関して、Stericycle は本ポリシーもしくは同様のポリシーおよび関連プロセスを適用するよう最善の努力をします。

Stericycle チームメンバーは、本ポリシーを読み、理解し、準拠する責任があります。

企業価値と世界的なビジネス信用へのコミットメントのため、Stericycle は特定の状況において法律で要求されるよりも厳格なアプローチを採用しています。個々の Stericycle の団体はビジネス礼儀のより限定的なルールまたはガイドラインを採用することができますが、少なくともこのポリシーに従う必要があります。また、地域の法律が本ポリシーの規制よりも厳しい場合は法律が優先され、準拠されなければなりません。

## 3.0 定義

**ビジネス儀礼** Stericycle チームメンバーと顧客および第三者代理店（総称して「ビジネスパートナー」）間の贈答品、エンターテイメント、ホスピタリティを指し、ビジネス関係を向上させ、相互のビジネス利益のために提供されるもの。

**ビジネスパートナー** Stericycle 業者、サプライヤー、顧客、第三者機関を含む。

**親しい個人的な友人** チームメンバーが Stericycle の業務から離れ、親密な関係を築いている人物。これにはチームメンバーが Stericycle での雇用期間中に関係を築いた同僚、顧客、業者、サプライヤー、第三者が含まれる。

本ポリシーにおける親しい個人的な友人には、お互いに同意のある「ロマンチック」な関係、もしくは性的な関係を築いた恋愛関係を持つ個人も含まれる。これは性別や性的指向に関係なく適用される。



**被支配事業体** Stericycle, Inc.が直接または間接的にその利益（もしくは資本または受益権）の50%以上を獲得するか、理事会またはその他の委員会で議席の50%以上を占めている団体、もしくは黄金株など Stericycle が何らかの支配権を所持している団体。

**顧客** Stericycle の現在の顧客および見込みの顧客すべてを含み、それら現在および見込みの Stericycle 顧客の所有者、株主、従業員、取締役、役員、担当者も含まれる。

**ハイリスク業者 (“HRV”)** Stericycleを代表して政府機関やその役人や従業員と関わる、もしくはStericycleを代表して政府機関や政府関係者に支払いを行う第三者の代理人（すなわちコンサルタント、輸送業者、販売業者、税関職員など）を指す。

- HRVの例には次のような政府関係者や従業員と関わる立場の第三者が含まれます。販売業者や代理店、コンサルタント、ロビイスト、輸送・物流業者、通関業者、ブローカー、ジョイントベンチャーパートナー、派遣・契約社員、当社が付与した委任状に基づいて運営されてる第三者団体。HRVは当社により大きなリスクをもたらすものであり、使用前にデューデリジェンス審査が必要となります。

**ホスピタリティ費用** 通常一泊以上の出張の交通、宿泊、食事、エンターテイメントに関連する費用。

**第三者機関** 役職に関わらず (i) 当社に商品やサービスを提供する、(ii) 当社の代理人となる、(iii) 当社を代表して行動する、もしくは (iv) 当社と共同で行動する非従業員もしくは第三者を指す。第三者機関によって提供されるサービスにより、そしてそのような機関が Stericycle を代表してその裁量で行動する場合、その機関は上記で定義されるハイリスク業者となる。

**重要な財政的利益** 公開企業の発行済株式の1%を超える金銭的利益、もしくは私有企業で2万5000米ドルを超える金銭的利益。

**親族** 血縁、婚姻、法的行為によって確立される関係。親族には以下のものが含まれる。

- 親、子供、兄弟、配偶者、叔母、叔父、姪、甥、いとこ、孫、祖父母、内縁の配偶者、内縁の配偶者の子供
- 義理の関係の上記のような親族
- 養子縁組による上記のような親族

#### 4.0 所有・責任

本ポリシーの所有者は経営倫理担当者となります。本ポリシーに関するご質問は経営倫理部門 [ethicsandcompliance@stericycle.com](mailto:ethicsandcompliance@stericycle.com) へお問い合わせください。

#### 5.0 背景・要件

利益相反とは、当社を代表して業務にあたる際に、個人的、社会的、経済的、政治的活動もしくは関係が、当社に最良の行動を起こすための客観性や判断、忠誠心に影響を及ぼす、もしくは影響を及ぼすと思われる、または影響を及ぼす可能性がある状況を指します。利益相反、もしくは単にそのように見える状況であっても、その他のStericycleチームメンバーやビジネスパートナー、当社の公的な立場の信頼を傷つける可能性があります。

利益相反のすべてをここに記載するのは不可能ですが、利益相反が発生する一般的な要因としては、個人の利益と当社の利益に分裂が生じる、もしくは生じると認識される状態があります。

チームメンバーは実際の利益相反、もしくは利益相反と受け取られる可能性のある状況を避ける必要があります。例えば、チームメンバーは当社を代表して交渉を行ったり、商取引に関する勧告を行ったり、他の方法で当社を代理して顧客またはビジネスパートナーとやりとりをする場合に利益相反がない状態になければなりません。

本ポリシーに違反すると思われる行動があった場合、当社が適切な対応を取れるよう直接経営倫理部門、人事部門、もしくは法務部門の担当者に報告をしてください。

[Stericycle Ethics Line](https://stericycle.com/ethics) (Stericycle.EthicsPoint.Com) より、適用法で許可されている通り匿名で報告を行うこともできます。

雇用前や雇用中に相反を開示しない、不完全な、不正確な、または誤解を招く開示を提出する、すでに開示されている相反の変更点を報告しない、相反に対処するために作成された条件または解決策に従わないなどを含む、本ポリシーに対する違反行為があった場合、適用法によって許可されている範囲で、雇用の終了を含む懲戒処分を受ける可能性があります。

Stericycleは、例えその報告を実証する証拠がない場合も、誠意をもって懸念を報告した、またはコンプライアンス調査に協力したチームメンバーに対する報復を容認しません。

以下の要件はすべての Stericycle チームメンバーに適用され、実際の、もしくは可能性のある、または明確な利益相反を包括するものです。

## 5.1 承認が必要なビジネス協定

経営倫理部門によって明示的に承認されていない限り、チームメンバーは次のことを行うことはできません。

- Stericycleと直接的または間接的に競合する。
- Stericycleに代わり請負業者、コンサルタント、サプライヤー、ベンダーとして行動する。
- ビジネスパートナー、顧客、もしくは非Stericycle団体の代わりにコンサルタントもしくはサービス提供者として、廃棄物管理に関連するサービスを行う。
- 親族もしくは親しい個人的な友人とともに、もしくは親族や親しい個人的な友人が関連する企業とともに、Stericycleの代わりに事業を行う。
- Stericycleに属する、または当社でのチームメンバーの役職を通して得た、既存の、もしくは潜在的な事業や投資機会を自身、親族、もしくは親しい個人的な友人のために使用すること。これには自身、親族、親しい個人的な友人が関わる、もしくは直接財政的な関心を持つ企業にそのような機会を与える行為も含まれる。
- ビジネスパートナーに対し、直接的か間接的かに関わらず、重要な財政的関心を持つこと。（注、公的に取引されているミューチュアルおよびインデックスファンドや同様の有価証券では、チームメンバーに投資の種類を選択権がない場合、相反とはならない。）

### 外部の取締役会への参加

その他の商業会社や外部の営利団体の取締役会に役員を含むチームメンバーが参加する場合、事前に当社の総合委員会の審査を受け、承認される必要があります。

Stericycleの取締役が別取締役会や委員会へ参加する場合、当社の総合委員会の助言と共に、Stericycle取締役会の指名統治委員会の承認を得る必要があります。

一般的に、非営利団体または貿易・専門組織（例、貿易協会、政治活動委員会、住宅所有者協会、青年スポーツクラブ、宗教、教育、文化団体）の委員会への参加は認められています。しかし、そのような参加も以下に当てはまる場合は経営倫理部門の事前承認が必要となります。

- 委員会でStericycleを代表する場合。
- 団体がStericycleの資金を受け取っている場合。
- 費やす時間などの理由で、Stericycleの業務に支障をきたす場合。
- 委員会への参加が明示的または潜在的な相反を発生させる場合。

委員会に参加した場合、実際の、潜在的な、もしくは明確な相反が発生した場合、書面で経営倫理部門に報告を行う必要があります。

## 5.2 実際の、潜在的な、もしくは明確な利益相反の開示

上記の禁止されているビジネス協定に関する開示と承認の申請に加え、チームメンバーは全員以下の義務を負うものとします。

1. 利益相反の回避。
2. 利益相反が発生した場合、その行動を迅速に終了する。
3. 当社の勤務を開始する際に、実際のもしくは潜在的な相反を開示する。
4. 実際のまたは潜在的な利益相反をもたらす可能性のある新たな状況があった場合、経営倫理部門に文書で速やかに開示する。

また、Stericycleのメールアドレスを持つチームメンバーは、毎年第1四半期に開催されるStericycleの年次オンライン開示プロセスに参加する必要があります。以前に提出された情報を更新する場合、経営倫理部門の報告チャンネルを通じて伝達します。新しく雇用される社員は、入社時に利益相反について開示する必要があります。

[Stericycle.COI.ethicspoint.com](mailto:Stericycle.COI.ethicspoint.com) or <mailto:ethicsandcompliance@stericycle.com>

## 5.3 必要な倫理アプローチ

チームメンバーは利益相反を特定するため、良い、倫理的な判断を行う責任があります。相反が存在するか特定するためには、以下のことを自問するようにしてください。

- 雇用・人間関係・投資が私のStericycleでの意思決定に影響を及ぼすか？
- 私の人間関係や投資が社内の同僚や上司にどう見えるだろうか？ Stericycleでの仕事や意思決定に影響があると思われるだろうか？
- 顧客やサプライヤー、株主、メディアなど、外部にはどう見えるだろうか？

経営倫理部門は、チームメンバーに関わる利益相反の問題を調査し、慎重に検討して問題を解決します。相反は様々な方法で解決されます。例えば、社外団体との関係により相反が発生した場合、チームメンバーはその団体に関わる特定の活動に参加を制限されたり、当社がその団体との事業関係を結ばなかったりする可能性があります。

チームメンバーは実際の、潜在的な、もしくは明確な利益相反を解決するため、チームメンバーは必要に応じて協力し、相反の原因となる行動をする前に事前承認を受ける必要があります。

## 6.0 贈答品とビジネス儀礼

ビジネスパートナーやその他の第三者間との贈答品、ビジネスエンターテイメント、ホスピタリティなどのビジネス儀礼の受け渡しは、実際の利益相反、利益相反に見える状況を発生させる可能性があります。ハイリスク業者を含むビジネスパートナーや第三者機関と贈答品の受け渡しを行うチームメンバーは、該当する場合Stericycleのビジネス儀

私ポリシーおよび国際出張・エンターテイメント・企業カードポリシーに準拠する必要があります。

## 7.0 縁故主義

チームメンバーは、自身や親族、親しい個人的な友人の利益になる、もしくはそう見なされる、Stericycleに関する意思決定やビジネスの取引を行うことはできません。これには親族や親しい個人的な友人の雇用、または自身や親族、親しい個人的な友人が直接もしくは間接的な財政的関心を持つ企業に対して雇用、従事、保持、監視、支払いを行う決定をする行為が含まれます。

Stericycleはチームメンバーの親族や親しい個人的な友人が社内で勤務している場合があることを把握していますこのような状況では、各Stericycleの支社に配布されているStericycle チームメンバーハンドブックの人間関係ポリシーを参照し、従うようにしてください。

## 8.0 公務

直接的か間接的かどうかに関わらず、政府もしくは公共団体がStericycleの顧客になったり、規制を行ったり、Stericycleの事業に徴税を行ったり、Stericycleに許可証やライセンスを発行する立場にある場合、公務員としての業務は利益相反を生み出すおそれがあります。また、公務員としての業務に時間が取られStericycleチームメンバーとしての業績に支障が出る場合も、利益相反と考えられます。

政府の部門、省庁、機関、官庁、委員会、議会、評議会またはその他の公的機関（学校や図書館の委員会など）を含む国家、州、県、地方、地方政府の公選もしくは指名公務員としての職を探したり地位に就く前に、まずその計画を経営倫理部門に伝え、特定の承認を得る必要があります。

## 9.0 不履行に関する執行・命令

本ポリシーへの準拠は必須です。Stericycleはその裁量により、ポリシーに従わなかった相手に対し懲戒処分を課すことがあります。これには最大で雇用の終了が含まれ、法的手段が取られることがあります。

## 10.0 関連ポリシーと手順

業務倫理規範

ビジネス儀礼ポリシー

Stericycle チームメンバーハンドブック

## 11.0 追加情報・解釈の要請

本ポリシーに関してご質問がある場合は、経営倫理部門までお問い合わせください。

## 12.0 修正・修正履歴

修正番号	1.0
発効日	2018年10月10日
最終確認日	2018年10月10日
次回の確認日	2020年10月

本ポリシーは2年ごとに見直され、承認される必要があります。本ポリシーの所有者はポリシーの更新および以前のバージョンの管理に責任を持ちます。